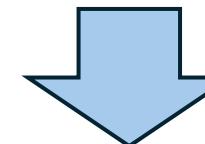


年間10万人の立山線利用者がもたらしている効果

＜前提条件（立山黒部貫光（株）実績値から設定）＞

- ・立山黒部アルペンルートを訪問する立山線利用者が
10万人／年
- ・内訳はインバウンド73%、国内客27%
- ・半数が県内で宿泊



経済波及効果 28億円／年

※第3次富山県観光振興戦略プラン（令和4年度～8年度）に掲げる指標項目の
令和6年度実績をもとに、10万人分の経済波及効果として算出。

今後、立山線利用者が増加した場合の経済波及効果

（人、億円）

		R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
立山線利用者	インバウンド	73,000	79,169	85,858	93,113	100,981	109,514	118,768
	国内	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
	計	100,000	106,169	112,858	120,113	127,981	136,514	145,768
経済波及効果	28.2	30.4	32.8	35.5	38.4	41.6	45.2	

※インバウンドは8.45%/年の割合で増加（観光立国推進基本計画：R6実績3,687万人
⇒R12目標6,000万人を達成するための増加率）

※国内客は横ばい

※観光消費額単価は物価上昇率を加味し、2%/年増加

- ・現時点で28億円／年の効果があり、令和12年度には45億円／年を超える効果が見込まれる。
- ・事業者（地鉄・立山黒部貫光）と行政が一体となり利用促進を図ることで効果をさらに増加させることが可能。